

☆運動あそびの大切さ☆

子どもは身体を使ったあそびの中で、様々な能力を獲得、学習していきます。

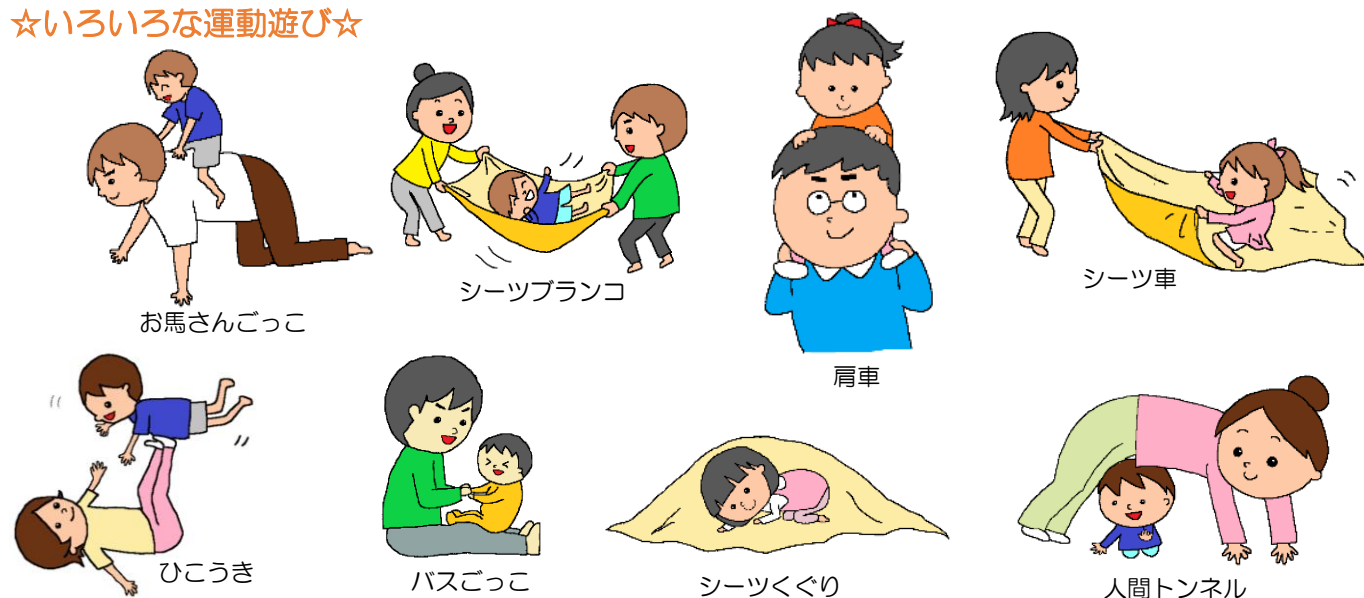
例えば、揺らしあそびで上手くバランスを保ったり、滑り台を逆から這い上がる等のあそびで、バランス・手足の協調性・筋力などの基本的な能力が育ち、しっかり立つ・歩く・ジャンプするための準備となります。

また、運動あそびの中で自分自身の身体イメージが高められ、どのくらい頭を下げればテーブルにぶつからないでくぐるか、ボールを蹴るにはどのくらい足をあげればよいか、といったことを無意識にコントロールできるようになります（身体図式の確立）。

このように、身体図式や協調性、バランスなどを基に新しい運動を学習する能力（運動企画能力）が発達し、兄弟やお友達の真似をしながらいろいろなあそびを成功できるようになっていきます！



☆いろいろな運動遊び☆



☆感覚あそびのいろいろ☆

・砂・土のあそび、草花・水・光・風・生き物とのあそびなど、常に変化している様々な自然のものと出会うことからいろいろな感覚を楽しめます。

・紙を破いたり、ご飯をこねたり、ちょっと困るかな・・・と思う遊びでも、手のひらから感じ、目で見て、耳で聞いて、たくさんの感覚を感じて学習しています。



子どもがいろいろなものに出会い、気づき、感じて、働きかける、そして次のステップにチャレンジできるように見守り関わってあげましょう！